

気候変動対策行動計画 主な指標

通し 番号	分野・項目	指標名	担当所属	基準値 (令和4年度)	単位	目標値 (令和9年度)	単位	実績値 (令和6年度)	単位	目標達成状況	達成率	内訳	今後の取り組み 未達成の理由、改善策
例	健康（熱中症）	熱中症に関する普及啓発件数（広報）	健康推進課	1	回	1	回以上	3	回	達成	900.0%	広報誌1回、セミナー2回	—
			生活環境課					6	回			広報誌2回、HP 1回、LINE1回、X2回	—
1	市民意識の 醸成	気候変動への対策が重要と考える市民の割合	生活環境課	—	%	70	%	79.0	%	達成	112.8%	分母：市民意識調査問38の気候変動への対策の「総計（489）」+問37の気候変動の「影響の感じない・無回答（15）」 分子：市民意識調査問38の気候変動への対策の「重要だと思う（398）」	
2		佐倉市による小中学校での気候変動に関する 出前授業の実施回数	指導課	0	校	2	校	2	校	達成	100.0%	間野台小学校 根郷中学校	
3	農業	水稲等の温暖化に対応した品種の 生産に対する支援	農政課	—	回	4	回 (累計)	0	回 (累計)	未達成	0.0%		R6は希望者がいなかった。 支援制度の周知を図る。
4		病害虫防除に関する情報提供回数	農政課	—	回	4	回 (累計)	1	回 (累計)	未達成	25.0%	ドローンによる病害虫防除の実施	引き続き、目標達成に向けた情報の提供を進めてまいります。
5		多面的機能活動面積	農政課	727.33	ha	820	ha	727.67	ha	未達成	88.7%	24活動組織	既存組織の活動継続支援及び新規組織設立支援を引き続き積極的に行う。
6	水環境・ 水資源	印旛沼浄化推進運動参加人数	生活環境課	295	人	500	人	195	人	未達成	39.0%	印旛沼CW参加者（10/8、10、12）	回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数が減少しているため。
7	自然災害 (洪水・内水)	災害に対して備えのある市民の割合	危機管理課	87.8	%	92.4	%	97.9	%	達成	106.0%	広報誌1回、市民防災訓練1回	—
8		自主防災組織の組織率	危機管理課	46	%	60	%	47.4	%	未達成	79.0%	121団体	HP等による広報
9		田んぼダムに取り組み水田面積	農政課	30	ha	40	ha	30	ha	未達成	75.0%		引き続き田んぼダムの取り組みの普及啓発に努める。
10		排水ポンプ施設の更新数	治水課	2	基	18	基 (累計)	6	基 (累計)	未達成	33.3%	操作盤等2件、ポンプ4件	目標値が累計のため
11		雨水貯留タンク補助件数	治水課	11	件	60	件 (累計)	13	件 (累計)	未達成	21.7%	貯留タンク13件	目標値が累計のため
12	健康（熱中症）	佐倉市・八街市・酒々井町消防組合管 轄市町の熱中症搬送件数	健康推進課	158	件	減少	件	100	件	達成	減少	佐倉市内の熱中症搬送人員（対象期間：R6年4月29日からR6年10月6日）	
13		クーリングシェルター・さくら涼み 処の設置数	健康推進課	18	か所	33	か所	74	か所	達成	224.2%	・さくら涼み処：44か所 （公共施設20か所、民間施設24か所） ・クーリングシェルター：30か所 （公共施設20か所、民間施設10か所）	・さくら涼み処の協力店舗、施設を増やします。 ・クーリングシェルターについては、実際の運営方法等を検討してまいります。
14		熱中症に関する普及啓発件数（広報）	健康推進課 生活環境課	1	回	1	回以上	8 2	回以上	達成	1000.0%	・こうほう佐倉：4回 ・市公式LINE：3回 ・市広報番組「weeklyさくら」：1回（5/6～5/12熱中症にご用心！を テーマに放送） ライン1回、Twitter1回	・引き続き、広報紙や市公式LINE等により、熱中症予防に関する普及啓発を実施してまいります。
15	市民生活・ 都市生活	水質検査実施地点数	水道課	12	か所	12	か所	12	か所	達成	100.0%	南部浄水場出口、志津浄水場出口、上座浄水場出口、宮前北公園、健康管理センター、井野中学校、上の谷公園、堀上公園、水質検査室、えのき公園、干場公園、上座総合公園	
16		街路樹管理方針の策定	道路維持課	未策定		策定済み	—	未策定	—	未達成	0%		令和7年度中に策定予定。
17	緩和策の推進	ごみの総排出量	廃棄物対策課	50,293	t/年	44,880	t/年	46,623	t/年	未達成	67.8%		令和9年度の目標値へ向けて、減量化は進んでいます。4R（リデュース、リデュース、リユース、リサイクル）の啓発を引き続き行ってまいります。
18		市民1人1日当たりの総排出量	廃棄物対策課	805	g/人・日	720	g/人・日	750	g/人・日	未達成	64.7%		令和9年度の目標値へ向けて、減量化は進んでいます。4R（リデュース、リデュース、リユース、リサイクル）の啓発を引き続き行ってまいります。
19		リサイクル率	廃棄物対策課	17.5	%	19	%	17.5	%	未達成	92.1%		様々な複合素材の商品が増え、リサイクルしづらくなっていることがあります。また、ごみの分別が徹底されておりません。製造者へリサイクルしやすい商品とするよう、国へ法整備を要望しています。製品プラスチック拠点回収を令和7年4月より本格実施しました。リサイクルの啓発を引き続き行ってまいります。
20		市域から排出される温室効果ガス	生活環境課	1,483	千t-CO2	1,123	千t-CO2	1,443	千t-CO2	未達成	11.1%	令和4年度（2022年度）実績値	引き続き、目標達成に向けた取組を進めてまいります。
21		市の事務事業から排出される温室効果ガス (CO2) 排出量	生活環境課	12,333	t-CO2	8,791	t-CO2	12,066	t-CO2	未達成	7.5%	令和5年度（2023年度）実績値	引き続き、目標達成に向けた取組を進めてまいります。